

**【テーマ】信州の風景をつくるカラマツ×アカマツ
A材利用率を高める外壁材・内装材等の改良と普及**

背景と目的

【背景】

- ・信州松本の豊かなカラマツ・アカマツ資源
- ・B、C材に偏った利用
- ・ヤニやねじれによる乾燥/加工の難しさによるA材需要の減少

【目的】

- ・カラマツのA材利用拡大とアカマツの松枯れ材利用による社会課題の解決
- ・原木3000m3／年のA材利用の地域経済循環ロールモデルとなり、地域小規模連携における「木をつかう社会の仕組みをつくる」全国への牽引となる。
- ・需要喚起と利用促進により、山主に利益を還元し、信州の美しい風景を守る。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- ・信州カラマツ・アカマツの意匠性と施工性の高い外壁材・内装材の改良・普及
 - カラマツ内壁材
 - カラマツ外壁材
 - アカマツフローリング
- ・汎用性とデザイン性の高いDIY対応の家具用材の開発等
 - 棚や天板に使えるフリーパネルの開発、アカマツ積み木等の普及

一般社団法人ソمامチ



ロゴとコーポレートメッセージ

信州カラマツの内壁材



ソمامチ開発の外壁材「カラマツT&Tパネルを試験的に内装施工。施工性など改良する。」

アカマツフローリング「ラフロ」



家具用材 積み木



※イメージ
カラマツ・アカマツ製品改良・開発

実施体制・連携グループ

○一般社団法人ソمامチ(2017年法人化)

信州松本の林業、製材業、建築業、設計業、家具木工・指物師、まちづくりディレクター、経営コンサルタントをメンバー(理事)とするチーム。自然(じねん)の概念に基づく3つのビジョン「地域経済のリデザイン」「フォレストシェアリング(コミュニティ創造)」「ライフスタイルの提案」を実現するため、「木を使う社会の仕組みを作る」をミッション(使命)に活動を続ける。山や街での各種イベントの開催とともに、「T&Tパネル」「ラフロ」「アカマツブルースティンの積み木」等の製品開発実績があり、好評を得ているが普及は道半ばである。今回さらなる需要拡大を目指し外壁材・内装材等の改良開発・普及に取り組む。

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①外壁材・内装材・家具用材等の改良開発(7月～10月) ※事業検討会議併催
林業、製材、建築、設計、家具木工・指物制作、地域づくり等、各分野のプロの連携による開発検討、試作、規格標準化。
- ②パンフレット制作(9月～10月)
普及啓発のツールとして制作。カラマツ・アカマツによるライフスタイル提案。
- ③シンポジウム開催(10月下旬)
松本市中心部で開催、200人を集客予定。製品ストーリー、理念を訴求。
- ④森林ツアー(11月)
産地に案内し、カラマツ・アカマツ森林のストーリーを五感で伝える。また、体験を通じたコミュニティづくりも図る。
- ⑤施工事例の展示(11月～12月)
市街地で一定期間、施工事例を展示。空間提示をすることで利用イメージを喚起させる。エンドユーザーからのアンケート収集、マーケティング分析も実施し、製品改良、普及手法に反映。
- ⑥WEBサイトのページ制作と情報発信(7月～1月)
当事業および製品PRページをWEBサイトに制作。即応体制の構築。制作検討段階から積極的に情報発信し、製品だけでなく理念も訴求。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

事業検討会議および開発検討／試作

試作施工事例展示

分析とりまとめ
報告書作成

パンフ制作

シンポジウム／ツアー開催

WEBサイトページ制作／情報発信